

第20回 乙女高原フォーラム



2000年から毎年11月23日に草原を守るためボランティアによる草刈りをしています。

2022年1月30日(日)

午後1時～3時

夢わーく山梨(地図裏面)

参加費 無料

【テーマ】

生態系パートナーシップで草原を守る！

気候危機に加えて**生物多様性危機**ともいうべき環境危機が進行する現代、日本ではまだあまり聞き慣れない「**生態系パートナーシップ**」という言葉が欧米ではよく使われるようになり、地域規模から広域、地球規模までの自然環境の保全・再生の活動を支えている。地域ではそれらの取組は、**SDG's**に掲げられている人類が現在抱えているさまざまな問題と関連させながら取り組むことが重視される。講演では、1930年代の生態学から生まれ、その後、自然、社会、科学の変化に応じて発展してきた「**生態系パートナーシップ**」にもとづく草原・湿原再生を取り上げ、それを支える科学と倫理について紹介する。また、炭素貯留、災害防止、生物多様性の保全など「**自然にもとづく解決法**」の統合的実践に寄与する「**自然再生推進法**」を活用した自然再生の可能性にも言及する。

今回のスペシャルゲスト

鷲谷 いづみさん



わたしに いづみさん。東京大学名誉教授。東京大学理学部卒業、東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。専門は生態学。東京大学大学院教授、中央大学理工学部教授などを歴任。主な著書として、『さとやま—生物多様性と生態系模様—』、『生物多様性入門』、『実践で学ぶ生物多様性』(以上岩波書店)、『生態学—基礎から保全へ』培風館、『なっとく大学一年生の生態学』、『絵でわかる生物多様性』、『新版 絵でわかる生態系』(以上講談社)、『たねはどこからきたか』(山と溪谷社)など、最新の翻訳書として『生態学大図鑑』(三省堂)がある。

主催：乙女高原ファンクラブ・山梨市・山梨県 後援：山梨市教育委員会

フォーラム会場へのアクセス



夢わーく山梨(3F 大集会室)

山梨市上神内川 1348
TEL 0553-22-3111
万力大橋の東。市民会館川向い
JR 山梨市駅より徒歩 6 分

新型コロナ感染対策のお願い

- ・事前の申し込みをよろしくお願いいたします。
- ・感染状況によっては、中止や規模縮小をするかもしれません。ホームページ等でご確認ください。
- ・発熱等かぜ症状のある方はご遠慮ください。
- ・マスクを着けてご参加ください。
- ・会場内は換気のため、窓を開けます。暖かい服装でご参加ください。
- ・入口で検温・アルコール手指消毒をさせていただきます。アレルギー等のある方はお伝えください。
- ・受付でお名前・連絡先等をご記入いただきます。万が一の場合、お知らせするためです。
- ・会場内では大声での会話はお控えください。

2021 年、コロナ禍の中でもファンクラブは活動を進めた

<p>街の駅<small>の</small>ホールをお借りし、設立 20 周年を記念したパネル展を開催</p>	3		
<p>遊歩道づくりを有志で実行。杭にロープを張った</p>	4	<p>スマレ観察会や黄色いスマレ観察ハイク</p>	<p>年3回のマルハナバチ調査は例年通り</p>
<p>夏休みに乙女高原案内人が交替で乙女の案内を</p>	5	<p>花と昆虫のリンク調査(高槻先生主導)</p>	<p>シカ柵設置後の植生変化を調べる植生調査(高槻先生主導)</p>
<p>草原を持続させるための草刈りは有志で実施</p>	6		
<p>街の駅やまなしにて、乙女高原の常設展示を継続</p>	7		
	8		
	9		
	10		
	11		

乙女高原ファンクラブにご参画を

乙女高原の草原は、人の手によって保たれてきた自然です。終戦までは地元集落の草刈り場として、戦後はスキー場(※)として管理するために「草刈り」が続けられてきました。放っておけば森になってしまうところを、人が手を加えることによって草原の状態を保ち、結果的に豊かな生物多様性を保ってきました。

ところが、2000年3月、スキー場の閉鎖にともなって草刈りも行われなくなりました。このままではせっかくの美しい草原が失われてしまうと、市民・行政が協働し、ボランティアを募って、草刈りを継続することになりました。

乙女高原ファンクラブは、この「人と自然のいい関係」を将来に渡って守っていくと設立されました。どなたでも会員になれます。入会無料。年会費もありません。多くの方々からのご寄付や助成金等によって運営されています。

2021年11月現在、入会者は758人。あなたも乙女高原の自然を次の世代に譲り渡す活動の輪に入りませんか？ お名前と住所と、できればメールアドレスを下記事務局までお知らせください。

※県内初のスキー大会開催可能スキー場。1951年オープン

【乙女高原フィールドガイドシリーズ】

A3判両面カラー。折りたたんでポケットに入る大きさに



乙女高原の自然を、みんなで守ろう！ 乙女高原ファンクラブ

〒404-0013 山梨市牧丘町窪平 1110-3

TEL/FAX 0553-35-3682

Email otomefc@fruits.jp

URL <http://fruits.jp/~otomefc/>

郵便振替 00220-8-71093 乙女高原ファンクラブ